

問 村の農業生産法人推進事業とは

答 農業者・農地ともに大きな課題

問 農業生産法人設立推進事業はどのような事業か。

答 高齢化や後継者不足、遊休農地の増加が課題であるため、農業公社の設立を検討中。農地の受け皿となる土地利用型農業を行うものとする。

問 農業公社の設立は膨大な経費が掛かる。地域は、さまざまな農業経営形態で支えられており、村がすべきことは農業者の育成を積極的に働きかけることではないか。

答 担い手がなかなか育たない現状も鑑み、望まれる法人の形を確



むらかみ たかし 議員
村上 孝



今後整備に取り組む石神城址公園

認し事業を進めたい。

問 今後の石神城址公園の整備方針は

答 10年間かけて調査・整備していく

問 県の文化財指定を受け、本格的に石神城址公園跡地の整備に取り組むが、今後の計画は。

答 令和2年度から10年間を整備期間とし、樹木の伐採、測量、発掘調査、遠見城へ渡る橋や安全柵を計画的に整備していく。また、地域の方々とイベントなどを実施し、協力を得ながら進める。

委員会レポート Committee Report

文教厚生
委員会

新型コロナウイルス 村内小学校・学童クラブの現場確認について

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、3月5日(木)より村内の小中学校で休校措置がとられました。文教厚生委員会では2名1組の3班体制で公立の6小学校、6学童クラブを訪問し、預かり状況、児童生徒の健康状況について確認しました。



▲中丸小学校の一時預かり状況

当日の預かり状況は、6小学校で61名、6学童クラブで274名でした。健康状況については、先生等が必ず付き添い、健康チェックを行っていました。小学校では、写真のように座席を離して対面を避けるなどの工夫が見られました。このような状況でも、児童の元気な姿を見ることができました。

小学校・学童職員から聞き取りした意見

- 休校を3月2日から5日に変更したことで、3日間の準備期間ができて良かった。
- 自宅で過ごすこととした家庭が多かったため、予想したより児童が少なかった。
- 新規受入れ対応が大変だった。
- 指導員の手配に苦勞した。